

教員選考に係る提出書類の記載要領（工学部用）

◆ 教員用履歴書（本学所定の様式）の記載要領

1. 本学所定の様式に記載されている注意事項に従って記載してください。
2. 所定様式を使用し、パソコン等を使用して作成してください。
3. 年月はすべて西暦で記載してください。
4. 年齢欄は作成日現在での満年齢を記載してください。
5. 学歴欄には、義務教育の最終学校(中学)から順に記載してください。（研究生等も記載すること）
また、取得された学位については、学位項目の種別欄に、学士、修士、博士について、**学位の種類及び学位記番号**まで確実に記載してください。

<記載例>

取得年月日	種別	授与者
〇〇〇〇年 〇月〇〇日	<u>修士(〇〇)(第〇〇〇号)</u>	〇〇大学
〇〇〇〇年 〇月〇〇日	<u>〇〇博士または博士(〇〇)(第〇〇〇号)</u>	〇〇大学

6. 職歴欄は原則として常勤の場合のみとし、職名等を明確に記入してください。
ただし学歴と職歴を通じて空白となる期間があり、その間に非常勤講師等の職歴がある場合には記載してください。なお、大学の教員の職歴については、主な担当科目を（ ）で付記し、現職については、必ず「現在に至る」と明記してください。
7. 学会における活動について
加入学会名、加入年月（西暦）、学会における委員会活動等について記載してください。
8. 記入欄が不足する場合は適宜追加してください。

◆ 教育研究業績書の記載要領

1. 教育研究業績書（教育・職務実績）は本学所定の様式にある記入例を参照して記載してください。
2. この教育研究業績書は教員判定の中心になる書類です。記載内容に不備がある場合には、判定できない場合がありますので、特に留意して記載してください。

◆ 教育研究業績集計表記載要領

1. 教育研究業績集計表は本学所定の様式の記入例及び欄外にある記載上の注意を参照して記載してください。
2. この教育研究業績集計表は教員判定の中心になる書類です。記載内容に不備がある場合には、判定できない場合がありますので、特に留意して記載してください。
3. 非実験系の教育研究業績集計表における社会活動（国、県等における学会以外の活動）については、社会活動の名称、役割、活動期間（年月）を記載してください。
4. 教育研究業績集計表に「最近5年の業績についてのIFポイント」を記載する欄（最下段）がありますので、記載漏れのないように注意してください。業績におけるIFポイントの該当がない場合には、枠内に「該当なし」を記載してください。

なお、最近5年とは、2023年7月1日からさかのぼり5年以内(2018年7月1日～2023年6月30日)です。

<記載例>

	単著・筆頭著者または責任著者	共著
IFポイント 最小～最大(合計)	1.9～8.2(15.6)	1.2～42.779(45.879)
IFポイントについて 特記すべき事項	Nature(42.779)、Science(41.846)、Nat.Mater(38.663)など	

◆ 研究業績書の記載要領

1. 研究業績書は本学所定の様式の記入上の留意点及びこの記載要領を参照して記載してください。

<記載例>

【実験系】										No.1
研究業績書										
論文(A) 学術雑誌等										
										入力日 2023年7月1日
										氏名 ○○ ○○
※新しい順に記載										
No.	国内 もしくは 国内 (プログラム選択)	区分 (プルダ ウン選 択)	タイトル	著者 (本人名も記入)	出版者・発行元	出版年月 (西暦○○○○年○月○日)	開始 ページ	終了 ページ	査読の 有無	
(1)	国内	共著(筆 頭著者)	○○○○における○○○○○○○に対する○○ ○○○○の効果	△△△△, ○○○○*, ▽▽▽▽	日本○○学会 日本○○学会論文集(Web版) ○○巻, ○○○号	2023年6月1日	111	123	有	

2. この研究業績書は教員判定の中心になる書類です。記載内容に不備がある場合には、判定できない場合がありますので、特に留意して記載してください。

3. 研究業績書の記載については、以下の要領をよく確認してください。

(1) 本学所定の様式に記載されている注意事項に従って記載してください。

(2) 本学所定の様式を使用し、パソコン等を使用して作成してください。

(3) 研究業績書は下記の項目ごとに区分し、各業績を新しい年月順(現在⇒過去)に番号を付して記載してください。

I. 学術論文(A)・・・査読、レフリー審査を経た論文

II. 学術論文(B)・・・論文(A)以外の論文

※プロシーディングは査読の有無にかかわらず論文(B)として記載してください。

III. 著書

IV. 雑誌新聞等

V. 学会等口頭発表

VI. 特許

VII. 作品発表等(非実験系のみ)

VIII. その他(特記すべき研究業績書(自由記載))

※著書、学術論文が共著の場合は、本人の氏名を含めて著者の氏名を当該著書、学術論文等に記載された順序(例: 編者△△△△、分担執筆○○○○、□□□□、××××)で記載し

てください。なお、著者が多数の場合は5名程度を記載し、他〇名と記載してください。

※学術論文（A）に限り、共著の場合に応募者が責任著者である場合には、コレスポンディング・オーサーであることが分かるように、氏名の最後に「*（アスタリスク）」を付け、氏名全体に下線を引いてください。（例：○○○○*）

※共著の場合は、本人の担当部分を明示してください。

※取得済特許の場合、「特許番号／登録番号」の欄に「特許番号（特許取得年月日）」も記載してください。（登録番号とは出願番号をさします。）

<記載例>

出願日 (西暦○○○○年○月○日)	特許番号／登録番号
○○△△年△月△日	特許第○○○○○○○○号(○○○○年○月○日) 特願○○○○-○○○○○○

(4) 著者の区分（プルダウン選択）の欄について

- I. 論文（A）（B）における区分のプルダウンでは「単著」「共著（筆頭著者）」「共著（筆頭著者以外）」「掲載決定」の中から選択することとなります。
- II. 共著で筆頭者の場合は共著（筆頭著者）を選択してください。
- III. 1冊の著書を数人で執筆した場合、当該部分は「単著」であっても「共著」を選択してください。

(5) 発行または発表の年月欄について

出版年月、発表年月は西暦で記載してください。

(6) 出版者・発行元、会議名等の欄について

各業績における論文誌、発表雑誌、学会誌等は、その発行者となる「学会名」と「雑誌名」の他に、「巻」「号」まで記載してください。

<記載例：出版者・発行元>

出版者・発行元
日本〇〇学会 日本〇〇学会論文集（Web版） <u>〇〇巻, 〇〇〇号</u>

学会等口頭発表における会議名の欄には、その会議名の他に「講演集名」「ページ数」まで記載してください。

<記載例：会議名>

会議名
日本〇〇学会○○○○部門講演会 <u>日本〇〇学会○○○○部門講演会講演論文集,</u> <u>pp. XXX-XXX</u>

◆ **著書、論文別刷の提出について【応募者全員対象】**

1. 著書については全著書を提出してください。
2. 論文（学術論文A, B）については第一次選考から全論文の別刷を提出されることが望ましいですが、揃わない場合は主要な論文5編程度の別刷を提出してください。（別刷がない場合はコピーでも可）ただし、第二次選考からは全論文の別刷を提出いただきますのでご了承ください。

なお、応募書類としてJREC-INサイトに添付できるファイルサイズは20MBまでですのでアップロードの際にはご注意ください。

◆ **JREC-IN PortalからのWeb応募をする際の注意事項【応募者全員対象】**

工学部の各学科への教員応募については、原則として、応募はWeb応募のみとします。Web応募時には、以下のリンク先に記載されている注意点を必ずご確認ください。

URL : https://jrecin.jst.go.jp/seek/html/help_detail/katsuyou/loginmae/user01-2.html

以 上